

北海道大学低温科学研究所 共同利用研究集会

「地球観測データのクラウド処理がもたらす雪氷学・氷河学の深化と可能性」

日時：2023年9月28日（木）10:00～29日（金）15:00

会場：北海道大学 低温科学研究所 講堂（3階 N302）

研究代表者：永井裕人（立正大学）・所内受入担当者：杉山慎・波多俊太郎

9月28日（木）（1日目）

雪氷・地球科学研究における衛星データクラウド処理

（AM：座長 三橋拓哉）

10:00 - 10:20	イントロダクション	
	挨拶・連絡	杉山慎
	趣旨説明	永井裕人
	自己紹介	大沼友貴彦
	アンケート説明	大沼友貴彦
10:20 - 10:40	山本雄平	「まずはGEEでクイックルック」
10:40 - 11:10	道下亮	「GEE登場の背景と現状」
11:10 - 11:30	Wang Yefan, (近藤研)	「北大低温研でのGEEの利用」
11:30 - 11:40	休憩	
11:40 - 12:00	波多俊太郎	「雪氷リモセンの目指すもの」
12:00 - 12:20	佐藤現	「GEEを利用した衛星データの物理表現」
12:20 - 12:30	議論	
12:30 - 13:45	昼食	

（PM：座長 近藤達哉）

13:45 - 14:45	事例紹介「GEEを使った様々な地球科学研究」	
	1) 三橋拓哉（東工大）（20 min.）	
	2) 伊藤知明（東大）（20 min.）	
	3) 面来貴志（早大）（20 min.）	
14:45 - 15:00	休憩	
15:00 - 17:00	GEEを使いこなすための技術共有（モデレーター：永井）	
	● リポジトリ・GetLinkの共有について	10 min
	● データの出入力	15 min
	● 整備済みデータセットについて	15 min
	● Google Colab + python/APIについて	15 min
	● 生成AIの利用について	15 min
	● できなかった事例について	20 min
	● その他議論	45 min
17:00 - 17:30	2日目のためのグループ分け+課題提示（大沼友貴彦）	

9月29日（金）（2日目）

雪氷リモートセンシング研究のプロトタイピング・ハッカソン（雪氷リモソン）

（ファシリテーター 永井裕人）

09:00 - 09:15	グループテーマ選択
09:15 - 11:45	グループワーク（前半）
11:45 - 12:00	中間進捗共有（口頭で簡単に）
13:00 - 14:00	グループワーク（後半）
14:00 - 15:00	発表・議論
15:00	閉会・解散（杉山・永井）